

## 所管事務調査の報告

5月31日、日野ふるさと振興課長及び木村（美）補佐を説明員として、道の駅七ヶ宿に隣接する「農林産物加工施設」の利活用状況について調査をいたしました。

この加工施設は平成26年4月に道の駅の供用開始とともに漬物などの加工食品を「道の駅」の新たな特産品として販売するため建築されましたが、指定管理者側の慢性的な社員不足や多岐にわたる業務量の多さなどから、積極的な施設の利活用に至らなかったとの説明がありました。

加工施設は5年を経過していますが新しく、施設内は各部屋が仕切られ、冷蔵冷凍設備、電気、ガス、水道なども完備されています。

各委員からは「指定管理者以外にも積極的かつ意欲的な団体や個人にも利活用させるべき」などという意見もありましたので、所有者である町や所管する担当課において施設の有効活用に対するさらなる協議、努力が必要と思われます。

総務文教常任委員会として各施設の有効活用や町の健全な財政運営など、継続的に調査していく必要があることを申し添え報告といたします。

総務文教常任委員会  
委員長 吉田 修

総務文教常任委員会  
「農林産物加工施設の活用状況」



## 所管事務調査の報告

5月20日、日野ふるさと振興課長、安藤係長を説明員として七ヶ宿ダム公園に計画されている遊具、花壇の設置個所とその詳細について調査をした。この事業は3月定例会において遊具等施設整備工事の費用として6,733千円が可決承認されましたが、事業年度は令和元年から2年間で、財源は「七ヶ宿ダム自然休養公園基金」と県補助金で賄われる事業です。

以前設置されていた遊具については、老朽化に伴いほとんどが撤去されたことから、今年度新たに設置されるもので、設置の候補地は3ヶ所から絞られ環境設備が進められる計画となっている。設置の予定されている箇所には満水時水没する場所などもあり、腐食による事故も考えられることから遊具の種類とその素材、又公園内における遊具の安全管理の点について質問が出されました。

ダム公園内の環境整備がさらに進み、多くのファミリーに利用され、さらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化が図られることを希望し報告といたします。

産業建設常任委員会  
委員長 梅津 政志

産業建設常任委員会  
「ダム公園施設整備事業」

